

令和3年度

事業報告書

(自) 令和3年4月1日

(至) 令和4年3月31日

社会福祉法人

琴浦町社会福祉協議会

令和3年度 事業報告

概 要

新型コロナウイルス感染症の終息が見えない中、自治会の集まりや活動ができにくい状況が続く、住民同士のつながりや関係性、協力体制が弱くなってきているように思います。

そこで、社会福祉協議会は町と連携し、防災、地域づくりなど住民主体の福祉活動や地域の中で住民の孤立、閉じこもり、介護などの問題を抱えている方の把握と地域の困りごとを関係機関に繋ぐなどの取り組みを進めました。

また、これからの地域社会において住民同士がお互いに支え、支えられて暮らすことのできる社会「地域共生社会」の実現に向け、「第4期琴浦町地域福祉計画」と一体的に「第3期琴浦町地域福祉活動計画」を策定しました。

介護サービス、障がい福祉サービス事業は、コロナ感染症対策を取りながら、安心、安全に利用できる事業運営に努めました。

重点事業

1 町民の福祉に対する意識の高揚と啓発について

【評価と課題】

町民の福祉への意識を高めるため、広報紙、ケーブルテレビ、ホームページを活用し福祉の情報発信をするとともに、全町民を対象にした福祉体験フェスティバルでは、VRによる認知症体験を行い、小・中学校、地区公民館では福祉体験を行うなど、福祉についての啓発に努めました。

また、集落訪問を実施し、41集落の福祉委員、区長、愛の輪協力員などから地域の地域福祉活動の状況と地域の福祉課題について、聞き取りや意見交換を行い課題把握に努めました。引き続き令和4年度も取り組んでいきます。

2 地域の困りごとを町民と協働しながら課題解決に向けた地域づくりについて

【評価と課題】

民生児童委員、福祉委員、愛の輪協力員による集落内の見守り活動や相談相手などの活動協力により安心して暮らし続けことができる地域づくりに取り組みました。

集落の地域福祉活動であるふれあいいいききサロンの実施集落は、近年減少傾向にあり、全集落の9%の取り組みとなっています。サロンの事業効果には住民同士のつながり、閉じこもりの予防、仲間づくりなどがあげられます。コロナ禍でもつながりあえるサロンを開催していただけるよう集落の支援をしていきます。

新規の支え愛マップ作成は11集落ありましたが、全体ではまだ22%と少ない現状があります。災害時だけでなく平常時においても身近な見守り体制の仕組みづくりとして、町防災担当などと連携し引き続き作成への支援に力をいれていきます。

3 安心して利用できる福祉サービスの利用の促進について

【評価と課題】

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症の影響により減収や失業等となった世帯に対して生活福祉資金コロナ特例貸付の相談を受けました。貸付の受付と併せて、希望者には町民などからの寄付による食品を提供し生活の一助に取り組みました。

また、相談者の生活再建のため、今後を見据え、町的生活困窮者自立支援事業と連携を図りました。

なお、日常生活自立支援事業や法人後見援助事業では、利用者（被保佐人）の権利擁護と意思決定を尊重した後見活動に取り組みました。また専門員・生活支援員は後見活動へのスキルアップのための研修会に参加しました。

社会福祉法人の公益的な取り組みでは、(福)立石会、(福)赤碓福祉会と協働して実施する「こども食堂」は、コロナ禍の中、それぞれの法人が開所できない状況となっていますが、法人連絡会（担当者会議）を通して、生計困難者等を対象に、新たな公益的な取り組みとして日用品の支給について協議を進めました。

4 法人運営及びその他福祉活動について

【評価と課題】

適正な法人運営にあたり関係法令、通知により定款及び諸規程の遵守と適正な役員等の選任手続及び理事会・評議員会の運営と適正な会計処理及び財務管理に取り組みました。

しかし、労務管理においては所管より指摘を受けました。指摘事項について速やかに是正措置を行うなど引き続き労働法制に基づいた人事・労務管理に取り組んでいきます。

また、新型コロナウイルス感染予防、災害発生時の各種事業、サービスの実施内容の判断や、従事する職員の配置等について事業継続計画（BCP）の策定への取り組みができていないので早急に取り組みに着手する必要があります。

なお、毎月実施する安全衛生委員会においては、福祉サービス等における苦情、事故、ヒヤリハットなどの報告と検証により、利用者の権利擁護と安心して利用できる福祉サービスなどの提供に取り組みました。

1 町民の福祉に対する意識の高揚と啓発について

1 広報活動

(1) 社協だよりの発行

社協活動について、会員である町民の方に福祉の情報紙として、『社協の福祉だよりに』を発行し全戸に配布しました。（8月・1月 計2回発行）

(2) 行政放送、ケーブルテレビの活用

会費・募金の協力についてのお願ひ、社協事業・活動への参加の呼びかけ等を行い、町民に広く周知を図りました。

(3) ホームページの運用

ホームページを運用し、いつでもどこでも福祉サービスの情報が閲覧でき、各種申請書等を取得できるよう利便性を図りました。

令和3年度1～3月 アクセス件数 10,916件(3,639件/月平均)
(R2年度2,249件/月平均)

(4) 琴浦町福祉大会の実施

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

福祉大会参加者(推移)

	H27	H28	H29	H30	R元	R2
参加者数	183	185	174	165	213	中止

(5) ことら福祉体験フェスティバルの開催

日時:令和3年11月14日(日) 参加者 28名

内容:VR認知症体験 ※株式会社シルバードによるVR機器を使用した体験

VRを使って認知症当事者の世界を体験することで、認知症への理解が深まる機会となりました。

(6) 福祉議会の実施

日時:令和3年11月17日(水) 社会福祉センター

参加者:琴の浦高等特別支援学校3年生6名、教員2名、社協役職員14名

内容:共同募金に関する意見発表

生徒は共同募金運動について事前学習を行い、共同募金の疑問や改善点について考える機会となりました。

(7) ふれあいいきいきサロンの実施 14集落

小地域において住民主導型で、会食やレクリエーション等を通じて交流を図るサロン活動の支援を行いました。

いきいきサロン実施集落(推移)

	H27	H28	H29	H30	R元	R2
実施集落	27	29	27	25	20	20

ア、サロン実施集落にレクリエーション指導に職員派遣実施 2回/年

イ、集落への職員派遣 敬老会 0回/年 (令和2年度 1回)

(8) 福祉座談会の実施 0集落

福祉座談会実施集落(推移)

	H27	H28	H29	H30	R元	R2
実施集落	9	4	5	5	9	2

実施集落 80集落(令和3年度末) (進捗度52%)

(9) 福祉教育の推進

福祉体験学習出前講座の実施（5回）

小中学校の総合的な学習時間の授業で、福祉体験（車いす、アイマスク、高齢者疑似体験）を実施し、体験による気づき、福祉の心を育てることを支援しました。

その他、福祉学習サポーターに協力いただき、福祉についての講話と体験のサポートをしていただきました。また、地区公民館で地域住民への福祉教育として高齢者疑似体験を実施しました。

実施日	対象者	参加者数	内 容
7月8日	赤碕中学校1年生	8人	・車いす、アイマスク体験 ・福祉学習サポーターの講話及び補助
7月30日	東伯文化センター	12人	・アイマスク・リンリンボール体験
11月18日	赤碕地区公民館主事	4人	・高齢者疑似体験
2月10日	聖郷小学校4年生	24人	・車いす体験 ・福祉学習サポーターの補助
2月18日	聖郷小学校4年生	24人	・高齢者疑似体験 ・福祉学習サポーターの講話及び補助

福祉体験学習出前講座実施（推移）

	H26	H27	H28	H29	H30	R元	R2
講座実績数	4	6	4	5	6	5	7

(10) 地域交流カフェ「あいカフェ」の開催

琴の浦高等特別支援学校3年生、個人ボランティア、生活支援コーディネーターと協働して地域住民との交流の場として開催しました。

①第1回

日 時 6月9日（水）10:30～11:30

場 所 農業者トレーニングセンター

参加人数 約20名

内 容 新わくわく琴浦体操、レクリエーション（連想ゲーム）、喫茶コーナー、支援学校による野菜や加工品販売

②第2回

日 時 9月8日（水）は中止

③第3回

日 時 12月15日（水）10:30～11:30

場 所 ショッピングセンターアプト内プラットあふと（合同開催）

参加人数 約40名

内 容 新わくわく琴浦体操、レクリエーション（昭和のクイズ）、ラダー体操、コーヒー販売の手伝い、支援学校による野菜や加工品販売、体験交流 船上山少年自然の家の工作コーナーに参加

2 地域の困りごとを町民と協働しながら課題解決に向けた地域づくりについて

- (1) 福祉委員の選任 154名（各集落1名）
- (2) 愛の輪協力員の選任 184名（対象者190名）
- (3) 集落訪問の実施

社協と地域との関係づくりと地域の課題に対する取り組みについて必要とされる施策について把握するため訪問しました。

実施集落 41集落（令和2年度 83集落）（進捗度70%）

- (4) わが町支え愛活動推進事業（町・県補助事業）の取り組み推進

「災害福祉マップ」作成を支援し、集落内の災害時の防災意識と誰もが安心して暮らせる地域づくりを支援しました。

- ① 実施集落 11集落（浦安7区、下伊勢西1区～4区、上伊勢、松井、上光好、大杉、籠津、国実） 【目標：10集落】 作成集落34集落（進捗度22%）

- ② ステップアップ事業 1集落（国主）

支え愛マップ作成（推移）

	H27	H28	H29	H30	R元	R2
作成集落数	1	2	3	2	2	4

- ③ 支え愛マップ作成に向けた集落等への説明会

- ・下伊勢西1区～4区役員対象
- ・松井集落
- ・槻下南団地 マップの更新（2回開催）
- ・八橋4区
- ・以西地区振興協議会
- ・国実
- ・上光好
- ・槻下北団地（住民組織間交流として槻下南団地 福祉委員から取り組みの説明）

- (5) 福祉委員・愛の輪協力員研修会の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止のため令和4年度へ延期しました。

- (6) 夏休みボランティア活動体験事業

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止としました。

- (7) ボランティアセンター事業

ボランティア登録（26団体 延498名 個人57名）

- ① ボランティアセンター推進委員会の開催（2回）
- ② ボランティア活動者の募集について（ホームページに掲載）
- ③ ボランティア派遣について

※居場所づくりプラットあふと

開催月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
派遣人数	6名	7名	8名	9名	コロナ で中止	8名
開催月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
派遣人数	11名	10名	15名	7人	コロナ で中止	9人

3 安心して利用できる福祉サービスの利用の促進について

(1) えんくるり事業

①こども食堂の実施

コロナウイルス感染症の影響により事業中止

②生計困難者に対する相談支援と経済的援助

生計困難者へ現物給付により生活再建への支援を行いました。

経済的援助世帯 3世帯（援助回数4回）（R2年度 3世帯）

(2) 日常生活自立支援事業

日常生活に不安をかかえている高齢者や障がいのある方を対象に、預貯金の出し入れ、福祉サービスの利用援助、書類の預かり等を行いました。

・利用人数8名（新規契約1件 解約4件） 延べ支援回数 156回

・生活支援員 8名

◆契約締結内部審査会 10回実施

(3) 成年後見援助事業

認知症、障がいのある方に成年後見制度に基づき、生活上の法律行為と身上監護、財産管理を行いました。

・被保佐人 2名

被保佐人（2名）の推定相続人調査を実施しました。

(4) フードサポート事業

生活が困窮されている方へ食材や食品を提供し、生活の一助とし自立を支援しました。

寄付登録数 企業・商店 12社、個人 6人

利用件数 4件（R2年度 5件）

(5) 資金貸付事業

①福祉資金貸付事業

ア、償還完了数 1件

イ、延滞件数（3月31日現在） 1件 貸付残高47,000円

※新規貸付は令和2年度より休止

②生活福祉資金貸付事業（鳥取県社会福祉協議会事務委託）

ア、新規貸付件数（緊急小口資金） 3件

③新型コロナウイルス感染症に伴う特例貸付

- ・緊急小口資金 35件
- ・総合支援資金 28件（延長、再貸付を含む）

4 法人運営及びその他福祉活動について

(1) 法人運営事業

地域福祉事業を円滑に推進及び実施するため、会員を募集し会費の取りまとめを行いました。
また、理事会、評議員会等を開催し健全な事業運営に取り組みました。

(2) 会員制度

	会員数	R 2 年度	金額	R 2 年度
一般会員	4,820 世帯(88.3%)	4,740 世帯	4,152,120 円	4,206,200 円
特別賛助会員	414 名(個人・法人)	459 名	970,000 円	1,111,000 円

(3) 理事会の開催（6回）

回数	開催日	人数	議 事
1	令和3年 6月3日	理事 11名 監事 2名 欠席理事 1名	(1) 令和2年度事業報告について (2) 令和2年度決算について 監査報告 (3) 令和3年度補正予算（第1号）について (4) 定款の一部変更について (5) 理事及び監事選任規程の一部改正について (6) 評議員候補者選任規程の一部改正について (7) 理事・監事選任候補者（案）について (8) 評議員選任候補者の推薦について (9) 令和3年度第1回評議員会の開催について
2	令和3年 6月25日	理事 11名 監事 2名 欠席理事 1名	(1) 会長及び副会長の選定について (2) 評議員選任・解任委員の選出について
3	令和3年 9月17日	理事 10名 監事 2名 欠席理事 2名	(1) 令和3年度琴浦町社会福祉協議会会長表彰について
4	令和3年 11月19日	理事 11名 監事 2名 欠席理事 1名	(1) 令和3年度補正予算（第2号）について (2) 令和3年度第2回評議員会の開催について

5	令和3年 12月17日	理事11名 監事2名 欠席理事1名	なし 協議事項 (1) 令和4年度地域福祉事業計画・補助金の収支について (2) 除雪機助成事業について (3) 社会福祉協議会の運営について (4) その他
6	令和4年 2月22日	理事10名 監事2名 欠席理事2名	(1) 育児・介護休業等に関する規則の一部改正について (2) 非正規雇用職員就業規則の一部改正について (3) 給与規程の一部改正について (4) 琴浦ふれあい事業所（就労継続支援B型事業）運営規程の一部改正について (5) 令和3年度補正予算（第3号）について (6) 役員等賠償責任保険契約締結について (7) 令和4年度事業計画について (8) 令和4年度収支予算について (9) 令和3年度第3回評議員会の開催について

(4) 評議員会の開催（3回）

回数	開催日	人数	議 事
1	令和3年 6月24日	評議員12名 会長、副会長 監事2名 欠席評議員 1名	(1) 令和2年度事業報告について (2) 令和2年度決算について 監査報告 (3) 令和3年度補正予算（第1号）について (4) 定款の一部変更について (5) 理事・監事の選任について
2	令和3年 11月30日	評議員13名 会長	(1) 令和3年度補正予算（第2号）について
3	令和4年 3月3日	評議員10名 会長、副会長 欠席評議員 3名	(1) 令和3年度補正予算（第3号）について (2) 令和4年度事業計画について (3) 令和4年度収支予算について

(5) 監 査（2回）

回数	開催日	人数	内 容
1	令和3年 5月17日	監事2名	令和2年度決算監査
2	令和3年 11月17日	監事2名	令和3年度定期監査

(6) 評議員選任・解任委員会（1回）

回数	開催日	人数	内 容
1	令和3年 6月14日	出席委員4名 欠員委員1名	評議員の選任について(13名)

(7) 苦情処理第三者委員会

回数	開催日	人 数	内 容
1	令和4年 3月16日	委員5名 欠席委員 なし 事務局長他管 理職員4名	<p>1 本会に寄せられた苦情・事故等の検討 期間：令和3年4月～令和4年3月まで</p> <p>(1) 苦情について 参考 (R2 : 2 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福祉サービスに関する事項 0 件 ・従業員に関する事項 1 件 <p>(2) 福祉サービス事故について 参考 (R2 : 5 件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の人身 転倒 3 件 ・利用者の精神的苦痛 1 件 ・事業所の経済的損害 1 件 ・事業所の経済的損害未遂 1 件 ・その他 利用料の引落日間違い 1 件 ①ひやり・ハット 参考 (R2 : 0 件) ・転倒、離設ほか 5 件 ・その他 介護報酬、給食費の請求間違い 1 件 <p>(3) 車両事故について 14 件 参考 (R2 : 7 件)</p>

(8) 琴浦町民生児童委員協議会助成金交付事業

琴浦町共同募金委員会の一般募金配分金を活用し、琴浦町民生児童委員協議会が実施する地域福祉活動に対し助成金を交付しました。(助成額 396,000 円)

(9) 歳末たすけあい事業

琴浦町共同募金委員会の歳末たすけあい配分金を活用し、小学校入学児童、中学校入学生徒に祝い品の贈呈と、申請集落に除雪機の購入費用の助成をしました。

①小学校入学祝い品贈呈事業

入学児童 116名 祝 い 品【クレパス(16色)・連絡袋】

学 校 名	児童数(名)	学 校 名	児童数(名)
八橋小学校	19	赤碕小学校	31
浦安小学校	34	船上小学校	18
聖郷小学校	13	倉吉養護学校	1

②中学校入学祝い品贈呈事業

入学生徒 167名 祝 い 品【デザインセット】

学 校 名	生徒数(名)	学 校 名	生徒数(名)
東伯中学校	100	赤碕中学校	60
町外中学校	7		

③除雪機購入費助成事業

集落内の防災や支え合いによる除雪作業の軽減のため、除雪機購入費を助成しました。
 助成集落 2集落 (古長、国主) (R2年度 1集落)

(10) 福祉センターの運営

①町内外の各種の会合、趣味活動の場に福祉センターを提供しました。

	社会福祉センター		老人福祉センター	
	利用回数(回)	利用人数(名)	利用回数(回)	利用人数(名)
ボランティア関係	32	302	13	97
福祉団体活動	55	466	ヘルストロン利用者 0	
趣味活動	269	2,253		
その他	27	169		
ヘルストロン利用		25		
合計	383	3,215		

②町民の健康増進及び交流を目的にふれあい交流広場を提供しました。

利用回数(回)	利用人数(名)
3	49

③高齢者の生きがいつくり活動へ施設の貸出をしました。

教室名	開催回数(回)	参加延人数(名)	場所
竹細工教室	46	374	本所 いこいの家
陶芸教室	48	369	本所 いこいの家

※感染症対策として、使用団体には検温と施設使用後の消毒、清掃を依頼しました。

(11) 慰霊事業

祭壇の貸出 1件 (R2年度 1件)

(12) 貸出事業 ()は貸出件数

① イベント用器具の貸出(集落の行事、保育園の行事ほか)

綿菓子機2台 (0回)	ポップコーン機3台 (0回)	かき氷機1台 (2回)
----------------	-------------------	----------------

② レクリエーション用具の貸出(いきいきサロン、保育園の行事ほか)

グラウンドゴルフ(室外、室内) (8回)	ペタンク(室外・室内) (1回)	輪投げ (2回)	スカットボール (3回)	ナンバーズストライク (0回)	ボッチャ(室内) (6回)
-------------------------	---------------------	-------------	-----------------	--------------------	------------------

③福祉用具の貸出

車椅子の貸出 19件 (R2年度 15件)

(13) 重層的支援体制整備事業における相談員の設置

断らない相談窓口として相談員を設置し、多機関協働事業及び生活困窮者等自立相談支援機

関と連携しました。

年間相談件数 延 71 件（内新規相談 52 件）

(14) 法人連絡会の実施（町内社会福祉法人による公益的な取り組み）

立石会・赤碕福祉会との連絡会・・・1回

（担当者会議・・・1回）

※生活困窮者等への支援について検討

(15) 第3期琴浦町地域福祉活動計画の策定

第4期琴浦町地域福祉計画(町策定)と連携した一体的な計画を策定(令和4年度～8年度)しました。

(16) 災害救援ボランティア活動マニュアルの改訂

（主な改訂内容）

- ・あらゆる相談を受け付ける総合相談窓口としての機能の設置
- ・訪問活動による支援の見直し
- ・災害ボランティアセンターの設置の判断基準の設定
- ・復興後（災害ボランティアセンター閉所後）の支援の設定

(17) 介護ボランティア事業（町委託事業）

コロナ禍のため、施設での活動ができない時期がありましたが、介護施設等でボランティア活動を行う40歳以上の方の派遣調整をし、ボランティア自身の介護予防につなげました。

登録者数 29 名（令和2年度 27 名）

活動延人数 269 名（令和2年度 276 名）

5 介護保険事業について

【評価と課題】

通所介護事業は今年度から職員体制の確保と利用者数の減に伴い、月曜から金曜の利用定員数を35名から30名、土曜日の利用定員を35名から10名へ削減。また、受入れ時間も16:30から15:30までと変更し、利用者・ご家族の理解をいただき取組んできました。土曜の定員数を減にしたことで、他事業所へ利用変更される方もありましたが、土曜日の職員体制を減にすることで、平時の通常サービス提供を確保することができました。

目標としていた定員は月～金の30名/日に対し平均21名、土10名/日に対し平均9名であり、稼働率は月～金は70%、土曜日は85%となりました。要因としては、利用者の体調変化による入所・入院などにより、年間8名の登録減に伴う実利用者数の減少と、年間の新規登録が5名ありましたが、内4名は要支援者のため利用回数が少なく、利用実数が減となりました。また、感染対策により利用者が複数の事業所を併用できなくなったことがあげられます。

年度末には、公式ラインを作成し、家族や親戚の方などデイサービスでの様子が伝わりや

すいよう通知しています。今後は、より幅広く周知し社協のデイサービスに興味を持っていただけるよう取組んでいきます。

1 介護保険事業

() は令和2年度利用実績

事業名	事業内容	項目	利用実績
通所介護事業	利用者の自立支援と、在宅における介護者の負担軽減などを目的とし、日中活動の提供と入浴・排泄時の支援、食事の提供、生活指導などのサービス提供を行い、利用者が楽しみを持って活動できるよう支援しました。 開所日数：309日	利用者数	40名 (43名) 介護 30名 (32) 支援 10名 (11)
		延利用者数	5,890名 (6,527名) 介護 5,146名 (5,749) 支援 744名 (778)

6 障がい自立支援事業について

【評価と課題】

障がい福祉課では3月にコロナ感染により職員体制が整わず、全体で延べ16日間の臨時休業を行い、約82万円の収入減となりました。感染防止と事業継続計画（BCP）に取り組みます。収益が見込めない相談支援事業では、生命保険協会から車両の寄贈を受け、支出を抑える事ができました。

生活介護事業は、新卒の重度障がい者1名が入所され、6月に生活介護事業から就労継続支援事業への移行と12月末に県外への転出による退所が各1名ありました。重度障害児支援事業補助金や強度行動障害加算、要医療障がい児者在宅支援事業の助成を受け、重度障がい者への対応に努めました。

今後も、年齢や障害特性が異なる利用者のニーズに沿った支援を行いながら、新規利用者や重度障がい者の受け入れができるよう、職員体制や環境整備等を随時行います。

就労継続支援B型事業は、生活介護事業から1名の移行がありました。作業では、町内企業との契約継続、農園の作物の生産量を増やし、町民より寄付頂いた野菜保管庫を活用しながら青果、乾燥物や焼芋を町内企業、役場やこども園での販売を行いました。平均工賃も2,527円アップの13,416円となりました。

今後も幅広く多機関と連携を行い、新たな作業受託や農園作業の充実と、補助金等の活用による用具や環境整備を進め、利用者の工賃アップやサービス費区分（平均工賃15,000円以上）向上に向けて取組みます。また、サービス提供可能な範囲で土曜日を開所し、社会マナーの習得や社会交流による生活の充実を図ります。さらに、事業所の取り組みや商品等のPRも随時行います。

1 障がい者自立支援事業

() は令和2年度利用実績

事業名	事業内容	項目	利用実績
-----	------	----	------

生活介護事業	常に介護が必要な障がいのある人に、日中活動の場を提供し入浴・排せつ・食事の介護や機能訓練、創作活動、生産活動を通じた自立支援に努め、かつ、年間行事を通じて社会参加を行ないました。 【目標：利用者 20名/日】 開所日数：236日	1 利用者数 2 延利用者数	19名 (20名) 3,468名 (3,581名)
就労継続支援 B型事業	一般企業での就労が困難な障がいのある人に、働く場を提供するとともに、就労に必要な知識及び能力の向上のための支援に努め、かつ、年間行事を通じて社会参加を行ないました。 【目標：利用者 20名/日】 開所日数：242日	1 利用者数 2 延利用者数	19名 (18名) 3,486名 (3,646名)
相談支援事業	障がいのある人やご家族等との相談や本人のサービス等利用計画の作成、モニタリングを実施し、関係機関との連携を図り在宅生活の支援を行ないました。	1 契約者数	者87件 児27件 (114件)

2 地域生活支援事業

() は令和2年度利用実績

日中一時支援 事業	障がい者等の日中活動の場を提供し、家族の就労支援及び日常的に介護をしている家族の一時的な休息を図るための支援を行ないました。 【定員：10名/日】 開所日数：282日	1 利用者数 2 延利用者数	17名 (16名) 1,851名 (1,768名)
--------------	---	-----------------------	--